週刊「考歴民（これみ）」Ｎｏ40　2021.12.27

交野古文化同好会

考古・歴史・民俗の頭文字を取って考歴民（これみ）と名付けました。

=確認されている交野の古墳=

交野市内古墳一覧表

2021.12 現在

古墳名称	種類			記　事
郡津丸山古墳	○	前期		南北 28m・東西 28m・高さ 6m
清水谷古墳	◎	後期		現存・奥行 4.6・幅 1.1m・高さ 0.9m
倉治丸山古墳	◎	前期		現在、枚方変電所
倉治古墳群 1 号墳	◎	後期		現在、枚方変電所
2 号墳	◎	後期		現在、枚方変電所
3 号墳	◎	後期		現在、枚方変電所
4 号墳	◎	後期		現在、枚方変電所
5 号墳	◎	後期		現在、枚方変電所
6 号墳	◎	後期		現在、枚方変電所
7 号墳	◎	後期		現在、枚方変電所
8 号墳	◎	後期		現在、枚方変電所
旧交野中学校古墳	◎	後期		大宝工業の後、住宅地　天井石も不明
京の山古墳	◎	後期		未調査、経塚？
やぶ古墳	◎	後期		半壊、西側石室の一部露出、現在住宅地
茶が瀬上古墳	◎	後期		南側に石室露出
茶が瀬古墳	◎	後期		半壊墳頂に横 1.6m 縦 45ｃｍかなつぼ石
住吉神社古墳	◎	後期		古墳を囲いて神殿を作っている
宮山古墳	◎	後期		住吉神社から 30m 道沿いの南側、不明
塚穴古墳	□	後期		現存・片袖式で方墳、西向き
塚穴上古墳	◎	後期		南北 6.7m・幅 1.8m　全壊
岩なし古墳	◎	後期		岩なしの花が美しかったが今はない
鍋塚古墳	□□	前期		標高２１０ｍの高所、全長 65m
森古墳群 1 号墳	○	前期		標高 155.3m　雷塚・全長 106m
2 号墳	○	前期		向山・全長　58m
3 号墳	○	前期		山神・全長　46m
4 号墳	○	前期		全長　50m
5 号墳	◎	前期		直径　15m
車塚古墳群 1 号墳	□□	中期		全長　58m
2 号墳	□	中期		一辺　27m
3 号墳	◎	中期		日の丸古墳　直径 22.4m に四角い溝
4 号墳	◎	中期		直径 17m
5 号墳	◎	中期		直径 16.5m
妙見山古墳	◎	前期		標高 130m
長谷古墳	◎	後期		横口式石棺を内部主体とする終末期古墳
大畑古墳	○	中期		全長 90～95m

凡例：○前方後円墳　◎円墳　□方形墳　□□前方後方墳

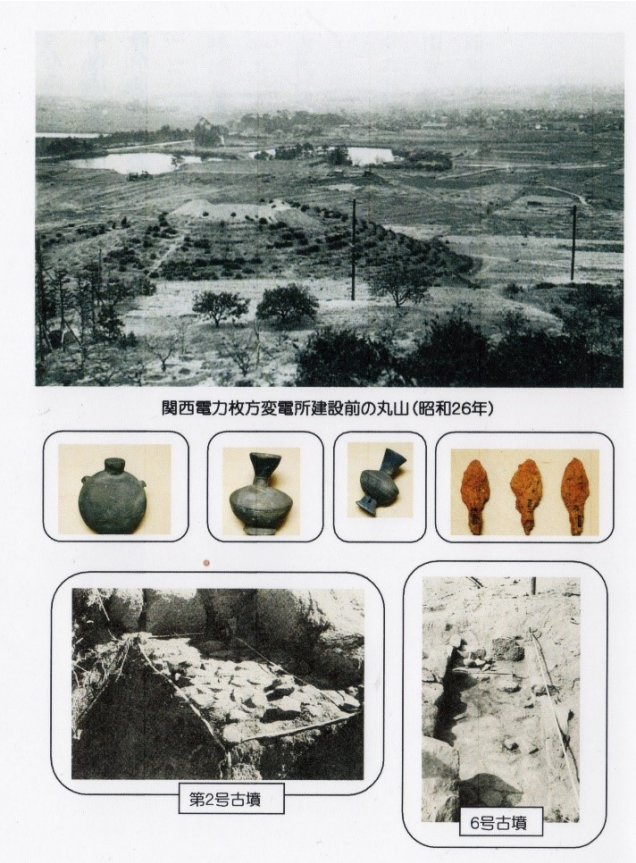
丸山古墳（郡津）

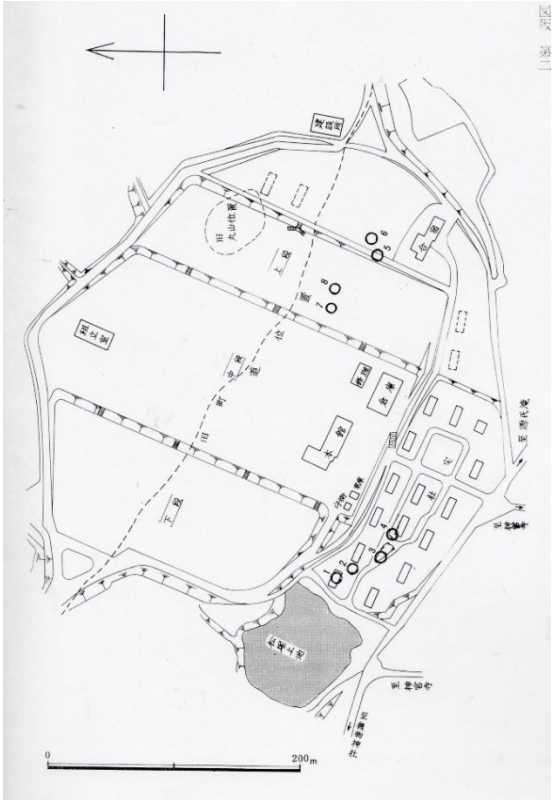
☆現在調査継続中、円墳?前方後円墳?

「壬申の乱」大友皇子墓?大津山前、京都大山崎

山崎という地名だけで・・・それはないやろう?

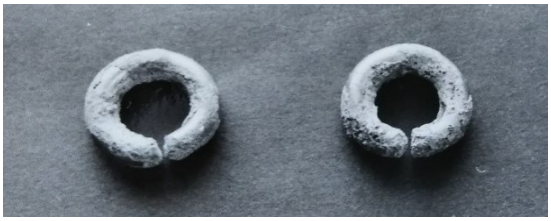
倉治古墳群



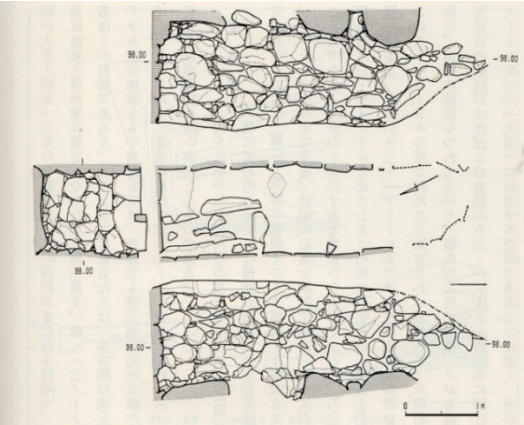


☆関西電力枚方変電所用地内から８基の古墳

清水谷古墳（倉治）



☆中期になると耳環をつける者があらわれる



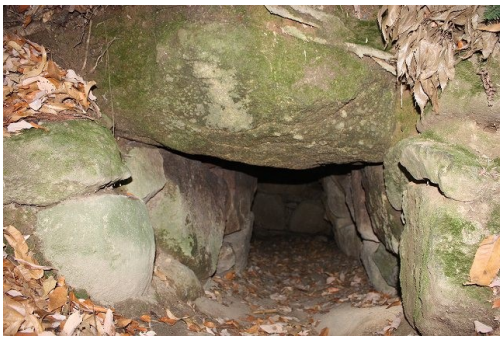
☆危険対策して保存されている古墳（清水谷古墳）
石室内崩落の恐れ、土のう袋で覆っている

旧交野中学校敷地内の古墳（倉治）

☆中学校の跡地に会社、そして住宅地となりいつの間に消えてしまった古墳

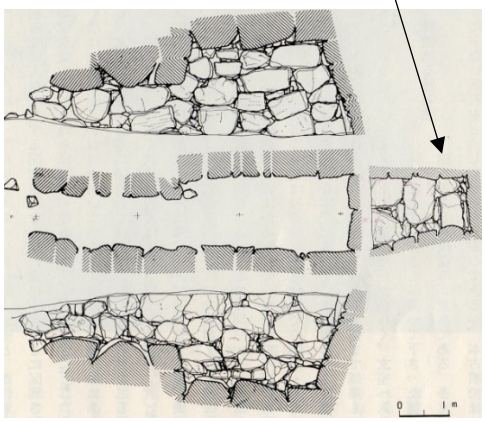
塚穴古墳（寺３号古墳）

☆この古墳は墳丘と横穴石室を完全に残す市内唯一、保存状態の良い古墳であります。
東西 12㍍、南北 11㍍の方形墳である。
墳丘中央に西向きに開いた横穴式石室（片袖式）に造られています。
奥壁から袖口まで 3.3㍍　　奥壁幅 1.5㍍
奥壁での高さ 1.9㍍



羨道部から

奥壁から(右側、片袖式)



茶が瀬古墳（寺第２号古墳）

☆未発掘、奥壁の上の天井石１枚を残している

岩なし古墳（寺）

☆未調査、岩なしの白い花が咲いていたが

いわなしの花

もう今はない、誰かが根元から持ち帰ったのだろう

「名なし古墳」なってしまった。

交野車塚古墳群

交野東車塚古墳（第2次調査・1988.8－1991.3）

日本一長い木棺跡

大阪・交野東車塚古墳

未盗掘で8メートル

2人を埋葬か

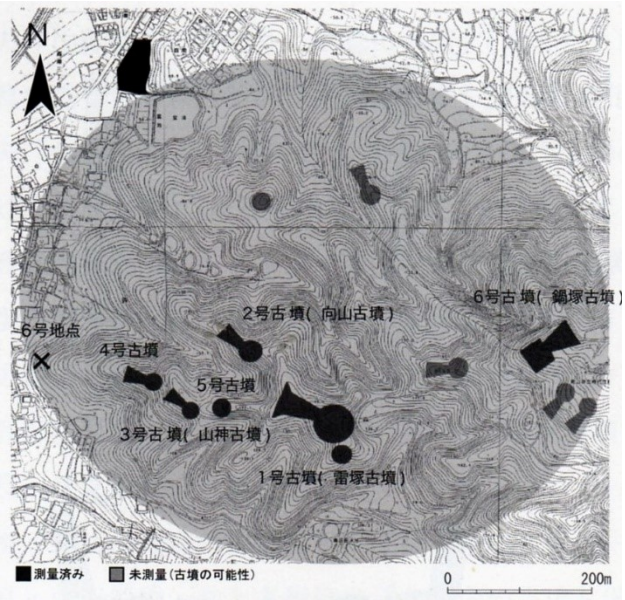
副葬品も多数

1988.11.11（朝日）

西車塚古墳（2号墳）

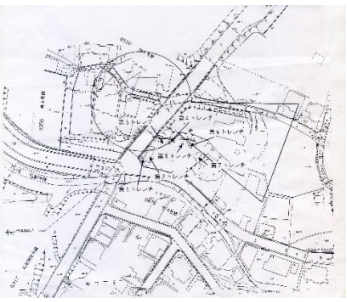
東車塚古墳群（1～5）・大畑古墳（6号墳）

森古墳群



雷塚古墳（1号古墳）

大畑古墳



交野の丘陵に大古墳群

学童3人の土器発見がきっかけ

最古タイプ8基

被葬者「物部氏」一族か

古代史好きの3人

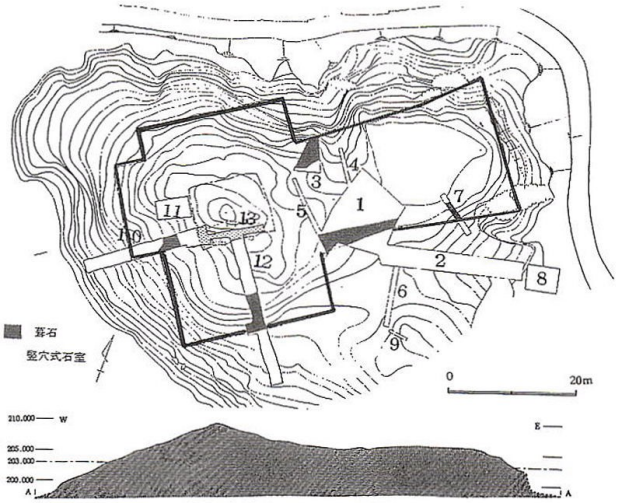
鍋塚古墳

交野市寺の山中で標高210mの高所に南山弥生遺跡がある。当遺跡は昭和３４年の大雨の際、崩れ出た土砂の中から多数の弥生式土器が出土した。河内を一望できる立地場所や出土遺物から当遺跡は監視や「のろし」をあげる目的を持った通信基地と位置付けられている。

この遺跡の西側の尾根に位置した所に、交野市最古の古墳と言われる「鍋塚古墳」がある。前方後方墳で４世紀初めの築造と考えられている。南山弥生遺跡は古くから遺跡として知られていたが、ここに防災施設の無線基地を建設することになり、その為の事前発掘調査 を平成７年にその後平成１０年に発掘を行った所、それまで南山遺跡の西に位置する古墳時代後期の群集墳の一つと

考えられていた鍋塚古墳が、実は全長６５ｍ、後円部経３４．２ｍ、前方部幅２８ｍ（推定）、くびれ部幅１６ｍの前方後円墳であることが判明した。しかも墳丘の埴輪も見あたらず、主体部と思われる位置に露出している板状の割石から、竪穴式石室を持った古墳ではないかと推定され、同じ森古墳群 のなかで最大長を持つ雷塚古墳よりも古いのではないかと考えられている

鍋 塚 古 墳

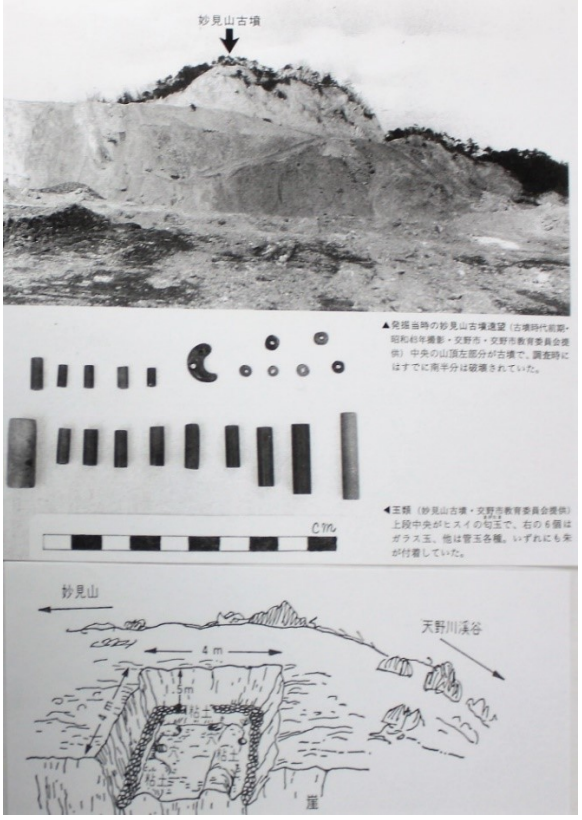


鍋塚古墳トレンチ位置図

妙見山古墳

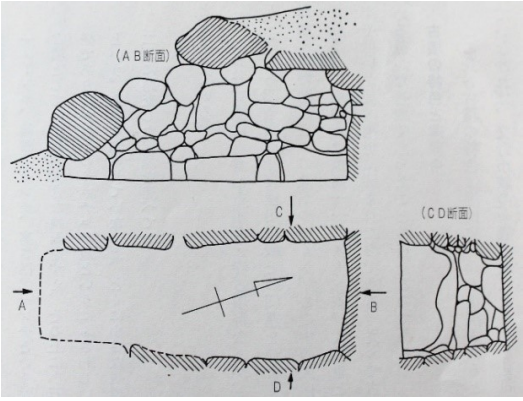
昭和 43 年四条畷高等学校地歴考古学クラブが発見、教育委員会に現状を報告、破壊寸前の古墳ということで願い出た。

調査の結果、本古墳は粘土槨を具えた古墳時代前期に属する古墳であること判明した。



長谷古墳

長谷古墳は交野市と四条畷市の境界（クボ池）付近にあった後期古墳。



☆堀田啓一氏「河内考古学散歩」により

昭和 61 年、古墳の所在したゴルフ場が大阪府住宅供給公社へ。

宅地化されるにあたり、教育委員会が周辺含め一帯の分布調査を行ったが、その時点ではすでに破壊され全く遺構は見出されなかった。

次号は令和４年１月３日